

## 学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	平塚農商 高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制 都市農業科・都市環境科・ 食品科学科・農業総合科・ 総合ビジネス科
-----	-----------	------------------	--

### 1 学校のミッション

全日制の課程学年制専門学科の高校として、産業の動向等に適切に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現を可能にするため、生徒の学力を育成するとともに、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的自立をめざし、カリキュラムマネジメントに学校全体で取り組む。

教育課程については、農業、商業に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実践的・体験的学習を重視して産業界等との連携をより一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて編成を行う。

多様な地域産業を担う人材の育成をめざし、農業科と商業科相互の連携、地域協働や産学官連携といった様々な連携・協働の取組みを通じて、国際化、6次産業化への対応といった視点での教育活動を展開する。また、学科併置の特色をいかした学習の充実と、地域の特性を活用した県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育に取り組む。

### 2 学校教育目標

- 主体的に学ぶ意欲と実学を学ぶ精神を育み、国際社会に貢献できる農業、商業のスペシャリストを育成する。
- 心身ともに健全で、知徳体の調和のとれた豊かな人間性と社会性を備えた人材を育成する。
- 農業及び商業教育を通じて自己肯定感を育み、それぞれの産業に従事することで豊かな地域づくりに貢献できる人材を育成する。

### 3 計画策定時点での課題

- 新校の学校教育方針に沿った農業科・商業科のそれぞれの強みをいかす指導の統一が遅れている。学科併置の特色をいかし、農業科・商業科双方の教育内容を補完しあい、幅広い産業社会に対応できる人材育成を図るために、キャリア教育と一体化した教育課程の編成を行うこと。
- 地域社会から期待される、知識と技能を有した生徒の育成について、農業・商業に関する教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育課程を編成し、共通教科の指導内容とも連携させていくこと。また、「人生100年時代の社会人基礎力」の醸成に向け、学習活動を通じて生徒が仲間や地域社会と主体的に関わっていくこと。
- 耐震工事による施設利用の制限終了後も体育館等の工事にかかる制限が続くことから、施設利用について総合的に俯瞰し効果的に運用していくこと。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒の基礎学力を充実・定着させ、学科併置の特色をいかし、磨き合う学習活動の工夫・改善に取り組む。</p> <p>②国際化、6次産業化を視野に入れた教育課程の充実を図る。</p>	<p>①課題研究等での主体的・対話的で深い学びの実践による学習の充実と学校設定教科・科目「アグリ・ビジネス」の学習内容充実と発展に向けた研究開発を推進する。また、「人生100年時代の社会人基礎力」醸成に向け、学び続け、磨き合う学習活動の充実に係る、授業改善の研究会を実施する。</p> <p>②専門学科の学びを他の教科等と関連させ、高いレベルの専門的な知識・技能を身に着ける教育課程等を編成する。</p>
2	(幼児・児童・) 生徒指導・ 支援	<p>①生徒が安全・安心に学校生活を送るための指導を充実させ、生徒自らが主体的に行動し、新たな社会的課題に対応できる人材の育成を図る。</p> <p>②責任感や連帯感の醸成と達成感が得られるよう生徒主体の活動を充実させる。</p>	<p>①全職員が教育活動全体を通じて生徒一人ひとりに対応した生活指導を徹底し、あいさつの励行などを通して社会人としてのルール・マナーを定着させるよう指導する。</p> <p>②生徒会活動を活性化させるための運営の指導と継続的な支援を実施する。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>①社会の動向に柔軟に対応できる産業人として、産業構造の変化や社会のニーズ等に対応した人物育成を推進する。</p> <p>②キャリア教育の充実を図り、高い専門性を持つスペシャリストを育成する。</p>	<p>①教科の学びを職業観・勤労観と関連させ、自らの進路を考え進路実現に必要な多様で専門性の高い知識と技術を育成する。</p> <p>②専門学科の各種大会、イベント、検定等を通じて、より専門性の高い知識・技能・表現力を身に付けるよう指導支援する。</p>
4	地域等との 協働	<p>①農業科や商業科の専門教育活動について積極的に地域に広報しPRするとともに、魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>②農業科、商業科それぞれの高い専門性の知識と技術をいかしつつ、社会に貢献することができる生徒を育成する。</p>	<p>①地域との連携を中核として情報発信するとともに、中学生の専門学科に対する意識等を体験学習の機会を通じて情報収集する。</p> <p>②農業科、商業科の学習活動で得られた知識や技術を活用し、生徒の教育活動と地域企業や地域団体等との連携を深める。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①信頼と期待に応える学校づくりを推進するため、事故・不祥事防止を徹底し、教職員の意識醸成や校内環境及び組織体制の整備をする。</p> <p>②安心して快適な教育環境の整備のため、生徒と向き合う時間を確保するための教員の働き方改革の実現と、組織的・計画的な学校安全管理を推進する。</p>	<p>①定期的な不祥事防止研修会を実施し、教職員の危機管理意識を高める。</p> <p>①適正な会計処理のためのチェック体制を徹底する。</p> <p>②ICTを活用した校務の効率化と勤務時間を意識した業務や会議内容を精選する。</p> <p>②災害特性を踏まえた避難訓練及び危機管理マニュアルに基づいたチェック体制を着実に実施する。</p>